

【五つのお約束】

佐藤ひさおは
次の五つの約束を守ります

- ①人口流出をストップし、人口増加を第一の政策に掲げます。**
佐渡は年間約千人の人口が減少しています。これを止める為に、
(a)企業誘致、地場産業の発掘・育成、農業の第六次産業化等で働き手の職場を確保し、佐渡を若者に魅力ある島にします。
(b)特養施設等を充実し、高齢者が安心して住める島にします。
- ②旧市町村間の格差を解消します。**
合併後、旧市町村間格差が深刻な問題です。各々の地域の特徴を活かして、産業を活性化し、地域格差のない、バランスのとれた佐渡づくりを実現します。
【国仲と、大佐渡小佐渡、隔てなく、共に栄える、佐渡ヶ島】
- ③【スピード感】をもって仕事をします。**
私は、問題を先送りせず、迅速に解決します。遅くとも、1~2週間以内に問題解決するか、その目途をつけます。
- ④【市民の皆様の見解】を県政に反映させます。**
定時或いは随時に、市民の皆様と意見交換会を開き、皆様のご意見に耳を傾け、問題を解決します。個人、団体いずれも結構です。佐渡の発展に前向きで建設的な意見をお願いします。尚、意見交換会は場合により公開とします。
- ⑤【説明責任】を果たします。**
市民の皆様【知る権利】に答えて、私は【説明責任(Accountability)】を果たし、納得の行く政治を徹底して行います。それには、
【市民は納税者(Taxpayer)、私は公僕(Taxeater)】の自覚に立ち、わかりやすい県政を目指します。

こんにちは! 佐藤ひさおです

私は佐渡が抱える問題の根源は【産業の衰退】にあると考えます。この産業の衰退が働き手の【島外流出】を招き、全国的にもまれな程の【少子高齢化社会】(高齢者率38%)をもたらしました。その結果、企業や家計の【担税力が弱まり】、佐渡市の【財政基盤は弱体化】し、その地方債(借金)は949億円(平成22年3月末現在)にもなりました。
この背負いきれない程の借金を孫子の代に残してはなりません。
私は、次のとおりの道筋をつけて、これ等の問題を解決致します。

佐渡市の【949億円の借金】を【無借金経営】へ
それには、
佐渡市の【弱い財政】を【強い財政】へ
それには、
【担税力の衰え】を【企業収益や個人所得の増大】へ
それには、
【少子高齢化】を【多子多齢化】へ
それには、
働き手の【島外流出】を【島内流入】へ
そして、
【衰退した産業】を【強い産業】へ転換することが必要です。

事務所 〒952-0024 佐渡市上横山117番地1
TEL・FAX 0259-27-5828
自宅 〒952-0027 佐渡市長江大手435-3
TEL 0259-67-7081
携帯 080-1064-8405
e-mail h.satoh1947@yellow.plala.or.jp

佐渡を豊かに!!

ストップ:人口減少・過疎化

若者が将来設計できる 佐渡ヶ島の実現

それには**産業経済の活性化が第一です**

- それは**①先端技術産業の誘致**(環日本海・アジア向け輸出)
②地場産業の発掘・育成
③農業の第六次産業化(生産・加工・販売)です



佐藤ひさお

座右の銘

「日本を今一度**せんたく**致し申し候」(坂本龍馬)

私の信念

「佐渡を**改革**し、よみがえらせた

1.はじめに

安倍内閣の「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」で円安・株高となりました。これで**実体経済**が**成長軌道**に乗るかは「成長戦略」次第です。それには、成長分野への**投資**が不可欠です。佐渡は、**農林水産業の六次産業化**に**投資**して、産業構造を改善し、雇用創出することが鍵です。また、佐渡のIT産業や精密部品産業が活性化する環境基盤整備が必要です。**農林水産業の構造改善**と**製造業の活性化**で雇用や所得を増やすことが必要です。

2.TPP

TPPは、シンガポールやニュージーランド等が提唱しましたが、現在は米国が主導しています。米国は、2014年迄に輸出倍増、雇用200万人創出を目論んでいます。我が国はTPPで我が国の農家を犠牲にしてはなりません。EUも米国主導の貿易秩序を警戒しています。私は、**RCEP(東アジア地域包括的経済連携)**で行くべきと考えます。日中韓やASEAN等16ヶ国で**FTA(広域的自由貿易協定)**を結ぶのです。我が国の貿易高はアジアが5割を占め、米国は1割です。アジアのことはアジア自らが決めるべきです。

3.原発

地震大国の我が国に54の原発(含む福島)は多すぎます。当面、大都市圏や工業ベルト地帯は格別、他は数を減らすべきです。それ等も、将来的には安価な米国内産シェールガスや将来エネルギーのメタンハイドレートに代替すべきです。大都市圏等以外は再生可能エネルギーを加速的に推進すべきと考えます。

4.市役所刷新への提案

「地域間格差」が深刻です。これを是正するには、一定の**「職員」、「予算」、「権限」**を旧市町村に戻し、**「善政」**を競い、お互いに元気にすることが大切です。今や「地方分権」の時、**「佐渡版地方分権」**が必要です。本庁には、佐渡全体の**「成長戦略」**を練る部署と**「広域行政」**が望ましい部署を残すことです。民間企業の「持ち株会社」と「子会社群」の関係です。人の健康には、手足の**血液循環**を良くする必要があります。佐渡を元気にするには、地域に**お金の流れ**を良くすることです。

5.交通インフラの整備

- (1)佐渡空港**
 - 佐渡空港滑走路の**「2千メートル化」**と**「佐渡-羽田航空路」**の開設を早く実現するよう、県に働きかけています。知事は、私の質問に対して、「佐渡南西30キロ沖の海底油田の試掘結果を見て、**再検討する**」と答弁されました。大いに期待されます。なお、羽田便では、**乗客輸送**だけでなく、ブランド化された佐渡の農林水産物等の**貨物輸送**も行い、**事業採算の好転**を図るべきです。
 - 「佐渡-羽田航空路」により、佐渡を**「首都経済圏」**に組み込み、**企業や人**を佐渡に誘致します。その為、進出企業用に**「工業団地」**の造成が必要です。
 - 2011年の「ジアス」の認定、今年の「ジオ・パーク」申請、そして、2015年の佐渡金山の世界遺産登録への申請等、世界に発信すべき新たな観光資源が誕生しつつあります。外国人観光客の誘致にも佐渡空港問題は重要です。
- (2)佐渡汽船**
 - 佐渡汽船の**運賃を下げる**ことにより、佐渡市民や観光客の利便性を確保し、佐渡汽船のより一層の活用を図る必要があります。
 - 小木-直江津航路に、**「高速カーフェリー」**を導入すべく県議会で質問し、また、働きかけています。2015年の**「北陸新幹線」**の開業と共に、**関西、中部**からの**観光誘客**に大きく貢献すると思われます。私は、現在の1日1.5往復の変則運航から**2往復**で利用者の利便性を確保すべく県議会で提案しています。
- (3)大佐渡山系縦貫トンネル**
トンネルの開通で、佐渡北部海岸地域と国仲方面との交通が容易になり、**「通勤圏」**が拡大することで北部地域の**「過疎化に歯止め」**がかかること、また、北部各漁港からの**「水産物輸送の時間が短縮」**されること、新たな**「観光ルートが設定」**されること、そして、**地域住民の生命や財産を守る「救急車」、「消防車」等の到着時間が短縮される**こと等が期待されます。この様に、トンネルは通勤・通院・生活、産業、観光、緊急搬送等の為、なくてはならないインフラです。

6.産業経済振興策

※佐渡再生八策(裏面)をご参照願います。

- (1)農業:**循環型農業の推進→【資源リサイクル型有機肥料工場】の建設と有機肥料の普及→佐渡産農産物の**ブランド化**→**首都圏への販売**を促進します。
- (2)畜産:**自給飼料による循環型畜産(国の施策)の振興→【佐渡高原牛】ブランドの構築→【と畜場】、【食肉加工センター】等の建設と【販売会社】の設立(畜産の六次産業化)で雇用を促進します。
- (3)林業:**【資源リサイクル型エネルギー】向け**間伐材の供給**による山林手入れの促進、川下、漁場対策の為の**落葉樹植林の推進**、シイタケ産業を復活させます。
- (4)漁業:**クロマグロ、寒ブリ、南蛮エビ等の**ブランド化**と**関東、関西への売込み強化**。育てる漁業(養殖)と水産加工を促進します。
- (5)建設:**「国土強靱化」の**仕事の確保**により雇用を促進し、島内経済の活性化を図ります。
- (6)観光:**①アジアの経済成長を取込むのが鍵。県と連携して香港、台湾、韓国等にPRを行う。外国人観光客835万人、うちアジア615万人(75%)
②2015年の**「北陸新幹線」**の開業に、**関西、中部の観光誘客**を促進する。その為、小木-直江津港路に**「高速カーフェリー」**を就航を図ります。
③佐渡金山の世界遺産登録(215年申請予定)、「ジアス」(2011年認証)、「ジオ・パーク」(申請中)等新たな観光資源を世界に発信する様尽力します。
- (7)工業:**①企業誘致(環境関連産業、先端技術産業等)を目指す。我が国貿易高は113兆円、うち、環日本海・アジアは57兆円(約5割)、米国は約1割。
②企業誘致は、**佐渡空港の機能強化**や**工業団地造成**とセットで取組みます。
③【過疎地域自立の為の企業誘致】を国や県と連携して取組みます。
- (8)商業:**①旧10ヶ市町村毎に、地域の特色を活かした事業を展開します。市には、地域の独創的な発想を引出す指導力が必要です。
②シャッター通り化は産業の衰退と人口減少と密接な関連があり、根本的には、地域固有の産業復活を同時に行うことが必要です。
③商店街に、駐車場を多数設ける等車社会に適した対応が必要です。

7.医療・福祉

- (1)医師不足解消:**①県と共に、医学部進学奨学金制度を充実します。
②県の医科大学創設構想に協力し、佐渡分校を実現させます。
- (2)予防医療の推進:**佐渡を日本一の健康・長寿大国に←高齢者率38%を逆手にとって。
- (3)福祉施設の充実:**特養施設、障害者施設の更なる充実で**家族の負担**を軽減します。
- (4)介護の充実:**ヘルパーや介護士の養成を促進、介護体制を充実し、**地域で支え合うシステム**の構築と雇用を促進します。

【佐藤ひさおの主な政策】